

サタデー コラム

岐阜北高創立80周年の決意

歴史の新たな一ページになった
と思います。

小職は、10年前の70周年に続
き、同窓会長の立場で実行委員
長を務めました。式典での生徒
会長ナズィファ・ファウズィさ
んによる生徒代表の言葉や、コ
ーラス部のリードによる校歌斉
唱に、現役生徒の頼もしさを強
く感じました。

ル後進国とやゆされるまにな
ってしまっています。このよう
な衰退の原因は教育にあるとい
われます。

今、わが国の復活に求められ
るのは、戦後から続いた教育の
改革です。時代の標準を変える
ことが必要です。岐阜北高校が
培ってきた歴史と伝統は、岐阜
の地で独自の文化、風土、気質
を育んできました。これらの資
質こそが、リーダーに求められ
るものであり、パラダイムシフ
トの源泉となり得ます。

でIT分野や文化、芸術、医療
の分野で活躍しており、その名
前を列挙すれば枚挙にいとまが
ありません。この後に続く、わ
が国の次代を担う人材育成のた
めに、現役生徒のサポート体制
が重要です。

昨今のコロナ禍や気候変動、
人口減少、財政危機は、未来へ
の不安や次世代への負担をより
大きくしており、さらにIT分
野ではアメリカ・中国に大きく
差をつけられ、わが国はデジタ

秋田屋本店社長 中村源次郎氏



なかむら・げんじろう 1951年、岐阜市生まれ。博士(医学)。岐阜南法人会長。県製菓協会会長。県薬事審議会委員。県収用委員会委員。みつばちの家庭理事長。県養蜂組合連合会長。岐阜市笑いと感動のまちづくり実行委員会会長。県フエニシシグ協会会長。県立岐阜北高校同窓会会長。

現在多くの卒業生が、国内外

同窓会「北斗会」は、「同窓
生の交流」と「学校支援」の二
つの目的を掲げてきました。支
援については「生徒ファースト」
をより鮮明にし、社会に貢献で
きるリーダーの育成を第一のミ
ッションとします。

北斗七星に由来する「北斗の
指標」を掲げる岐阜北高校が、
この80周年を機にパラダイムシ
フトを起こし、社会に役立つ教
育を実践する高校として、北斗
のごとく輝き続けるよう期待し
ます。

文化の日の今月3日に、県立
岐阜北高校の創立80周年記念式
典が行われました。コロナ禍の
中で開催するのか、学校、PT
A、同窓会で組織する実行委員
会では大変迷いましたが、これ
まで10年ごとの節目に実施して
きた実績やこんな時こそ未来の
90周年、100周年へとつなぐ
意義を考慮し挙行となりました。
会場の岐阜グランドホテル
と新型コロナウイルス対策の綿
密な打ち合わせをして万全の態
勢で臨み、出席を90人に限定し、
全校生徒、教職員はじめ関係者
へはウェブ配信としました。規
模を縮小しましたが、「文化の
北高」にふさわしい、厳かで格
調高い記念式典となり、母校の